



平成28年4月26日

各位

会社名 大日本木材防腐株式会社
代表者 取締役社長 鈴木 龍一郎
(コード番号 7907 名証第二部)
問合せ先 専務取締役 上田 茂夫
(TEL 052-661-1502)

当社会津工場における土壌調査結果と特別損失の発生に関するお知らせ

当社では、会津工場（福島県会津若松市城西町）の閉鎖に伴い、「土壌汚染対策法」（以下「法」という）に基づく土壌及び地下水の自主調査を実施いたしました。

その結果、敷地内一部の土壌から法定の基準を超えるヒ素と六価クロムが検出されましたので、本年3月22日に法第14条の区域の指定の申請を福島県に行いました。

今後の対応といたしましては、法に基づく手続きを経た後、汚染土壌の掘削、搬出、良質土の埋め戻しなどを行い、適切に処理してまいります。このための処理費用として現時点で合理的に算定した金額127百万円を平成28年3月期において特別損失として計上することを決定しましたので、お知らせいたします。

1. 会津工場の概要

住 所 : 福島県会津若松市城西町8番61号
敷地面積 : 7,590.97㎡

2. 汚染の概況

土壌調査を実施した結果、全82区画のうち、溶出量調査においては17区画で基準を超える濃度のヒ素、2区画で六価クロムが、含有量調査においては1区画で基準を超えるヒ素が検出されました。なお、敷地内の地下水については、すべての地点において両物質とも環境基準値以下でした。

溶出量基準

① ヒ素

- ・ 17区画の土壌で基準値0.01mg/Lを超過し、そのうち最高濃度は0.90mg/Lでした。
- ・ 地下水については、基準内の数値でした。

② 六価クロム

- ・ 2区画の土壌で基準値0.05mg/Lを超過し、そのうち最高濃度は0.82mg/Lでした。
- ・ 地下水については、基準内の数値でした。

含有量基準

① ヒ素

- ・ 1区画の土壌で基準値150mg/kgを超過し、その濃度は1,200mg/kgでした。

3. 今後の見通し

平成28年3月期の連結通期業績への影響につきまして現在精査中であり、今後修正の必要があると判断した場合には速やかにお知らせいたします。

以上